

錦織圭選手の引退に寄せて

喜多村啓子(旧姓 風呂)

松江北高 1980年卒、31期

(2026 年9月近況報告)

錦織選手が18歳の時、デルレイビーチ大会で優勝したと教えてくれたのは、南高出身の同僚でした。それ以来ずっと、WOWOWや配信でかかさず試合を見てきました。

いつかグランドスラムで見たいと思っていましたが、彼も30歳近くなり、「いつかと思っているだけでは実現しない！」と、2019年の全仏に行くことを決めました。

まずはチケットの争奪戦！チケットは全日程分が3月の指定日、日本時間17時から一斉に発売されます。17時にクリックすると1時間待ちの表示、サイトに入った後は、日にちとコート、席を決めて、支払いまで15分以内に完了しないと、タイムアウトです。初めてのサイトで焦りながら、3回戦の1日目、スザンヌランラン(二番目に大きい)をとれた時には、ほっとしました。その後追加のチケットも取れ、準備は万全と思われました。

しかし、どのコートになるかは前日の夕方までわかりません。錦織選手はコート・アンの第2試合となりました。前日、スペインとの国境にあるSt.ジャンド・リュズにいましたが、自由席なので、予約した列車ではコートに入れない可能性が高い。その日のうちに空路でパリに行くことも検討しましたが、真夜中のパリ着は危険なので、翌朝5時の列車で、10時にモンパルナス駅に到着。ローランギャロスに着くと、第1試合は始まっており、コートには行列が・・・隣のフランス人らしき女性に「入れると思う？」と聞くと「試合が終れば多くの人が出るから大丈夫！」その通りでした。適当な入口に並んだのに、3m先にコーチのマイケル・チャンが！間近に錦織選手を見られて感激しました。相手はジェレ。簡単に勝つかと思いきや、いつものように途中で逆転され、相手にマッチ

ポイントを握られるぎりぎりの展開に。声をからして応援しました。再逆転で3回戦を突破、4時間25分の熱戦でした。

私は今年9月に定年退職します。錦織選手最後の大会、9月30日から始まるジャパン・オープンに、ボランティアとして参加します。

